

- 教育関係法令
- 小学校学習指導要領
- 学校評価
- 実態調査
- 学力・学習状況調査

【学校教育目標】

- (知) よく考え、すすんで学習する子ども(やりぬく力)
- (徳) 心豊かで思いやりのある子ども(ゆたかな心)
- (体) 明るく健康な子ども(じょうぶなからだ)

○かわさき教育プラン

- 「めざすもの」
- 一人ひとりが輝き、共に未来をつくる
- 「みんなと共有する価値観」
- 一歩、踏み出す ●自分の幸せ、みんなの豊かさ ●多様性を可能性へ

【学校経営方針】

- I 新しい社会を創り出す能力や態度の育成に取り組む
- II 児童理解と人権尊重を大切にされた指導に取り組む
- III 現代諸課題、喫緊な課題に取り組む
- IV 開かれた学校づくりに取り組む

【めざす子ども像】

- やりぬく力
 - よく聞き、よく見、よく考え、進んで活動する子
 - 読む、書く、計算に地道に取り組む子
 - 自分の考えをもち、話し合える子
 - 最後まで取り組む子
- ゆたかな心
 - 進んであいさつのできる子
 - お互いに認め合える子
 - 協力し合える子
 - 心の痛みがわかる子
 - 人を敬える子
- じょうぶなからだ
 - いのちを大切にできる子
 - 健康や安全に気をつける子
 - 体をきたえる子
 - 地域の文化、スポーツに参加する子

学校経営重点目標

よく考え進んで学習する子

- 自分事として学ぶ姿勢を貫き、目的意識や見通し、振り返りを通じた自己調整学習に取り組む子(主体的)
- 他者との関わりを通して考えを広めるだけでなく、多様な視点との出会いを大切に、協働的な課題解決に向けて努力する子(対話的)
- 知識を関連付けて意味づけていく本質的な理解を目指し、新しい場面において、進んで既習事項の知識を活用していく子(深い学び)

心豊かで思いやりのある子どもの育成

- 人の気持ちを考え、その気持ちを受け止めたり、その気持ちによりそったりしながら、人のために貢献しようとする子
- 自分の思いを大切にするとともに、友達の考えを認め、共に高め合えることができる子
- 場面に応じた気持ちのよいあいさつや言葉遣い、行動、対応ができる子
- 異学年の子と分かり合い支えあいながら進んで仲良くできる子

明るく健康な子どもの育成

- 進んで体を動かし、健康や安全、また食生活について考え、それを生活に生かすことができる子
- じょうぶな体を作るために、毎日の食事を大切にする子
- うまくいかない時に、すぐに人に頼るのではなく工夫したり、努力したりして、自分の力で乗り越えていける子
- 自分の身は自分で守る意識をもち、いのちを大切にできる子

喫緊な課題への対応

- 校外内における危機管理意識を深め、児童の安全管理や健康管理に努める。
- 学習状況調査等の分析をもとに、児童につけたい資質能力を客観的にとらえ、改善に取り組む。
- 「あいさつ運動」を学校全体で取り組む。
- 教職員の資質や能力の向上に向けた研修・研究の充実を図ると共に、働き方・仕事の進め方改革に取り組む。
- GIGAスクール構想を的確に理解し、適切な使い

開かれた学校づくり

- 学校づくりとまちづくりの共通の関心事を束ねて学校教育活動を構想する。
- 地域との交流や地域活動への参加を通して地域との連携強化を図るとともに、地域にある学習材を学校教育活動に生かしていく。
- 児童の地域に対する愛情を育てるとともに、その気持ちをより高める活動を展開していく。
- 地域の人的資源について学習に積極的に生かし、連携の継続を図る。

今年度の重点目標

よく考え進んで学習する子

- ☆基礎的な学力の定着を図る手立ての追求
- ☆校内研究・職員研修の充実
- ☆個に応じた指導法の実現
- ☆ICTの積極的な活用等、指導法の見直し

心豊かで思いやりのある子どもの育成

- ☆ペア学年活動の創造
- ☆人権尊重教育の徹底
- ☆道徳教育の充実
- ☆共生・共育の推進
- ☆キャリア在り方生き方教育の推進

明るく健康な子どもの育成

- ☆体力向上に関わる取り組みの推進
- ☆食育の一層の推進
- ☆精神的な自立に向けての指導・支援

喫緊な課題への対応

- ☆校舎内外での児童の安全管理の徹底
- ☆あいさつ運動の徹底
- ☆学習評価研修と単元構想
- ☆教職員全体の資質能力の向上に関する研修の充実

開かれた学校づくり

- ☆地域のよさを生かした特色ある教育活動の創造
- ☆地域の教育力(リソース)を生かした教育活動の推進
- ☆近隣園・近隣校・近隣施設との連携(幼保小連携と小中連携)

未来へつなぐ笑顔のバトン かがやけ はばたけ めまべっこ

重点目標にかかわる具体的な取り組み

- ☆新学習指導要領の動向を探りつつ、目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善に取り組む。
- ☆言語活動の充実による、思考力・判断力・表現力の育成
- ☆体験学習、問題解決的な学習の充実 ICT活用
- ☆校内研究・校内研修の充実
- ☆学力状況調査結果からの課題追求
- ☆全校的な学習ルールの定着

- ☆ペア学年活動でのリーダーシップ・フォロワーシップにおける能動的・自律的な判断や行動の育成
- ☆「川崎市子どもの権利」に関する条例をふまえた人権尊重教育のさらなる充実を図りながら、優しい心配りや言葉遣いができるあたたかな人間関係を作る。
- ☆特別の教科「道徳」の目指す「考え、議論する」道徳教育への転換を図り、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。
- ☆共生・共育の推進
- ☆キャリアノートの積極的活用

- ☆授業、行事、休み時間等を通して、学校生活や家庭生活の中に、外遊びや運動の定着を図る。
- ☆保健教育と食育を通して、健康や安全についての関心・意欲・態度を育てる。
- ☆各教科における教材・教具及び場の設定等に関する安全配慮について、検討し事故防止に努める。
- ☆全教育活動を通して、児童の精神的な自立に向けた指導と支援に取り組む。

- ☆校舎内外における安全な歩き方や過ごし方の定着を図り、けがや事故を未然に防ぐ。
- ☆教職員がまず積極的にあいさつ運動を推進することで、学校全体の取り組みとして発展させ、学校全体に広げていく。
- ☆学習評価の事例研修、単元づくりの中での3評価の位置づけを考える。
- ☆キャリアステージにおける教職員の資質能力の向上研修の充実。各自の校務分掌における創造的取り組みを行う。

- ☆地域や保護者、大学や企業等の支援を積極的に活用した学習活動と学校行事の充実を図っていく。
- ☆「下沼部」というまちのもつよさを最大限に生かした教育活動をつくりあげていく。
- ☆園児・児童・生徒の各発達段階をふまえながら地域の園や学校との交流を行い、豊かな人間性の育成を図る。
- ☆地域に対する感謝の気持ちをもち、その気持ちを具体的な態度や行動として表す活動をつくりだしていく。

子どもも大人もみんな、 「楽しい下沼部小学校」をつくりあげていく。～基本にかえろう 下沼BASIC～